

# 図書館だより

## 目次

■図書館は「宇宙」の中心	1
■図書館ホームページ～使いこなして図書館ツウに～	2
■図書館に無い本も読みたい!～図書館の使い方シリーズNo.12～	4
■学生選書モニター(平成16年度第2回)	6
■新着DVD紹介	7
■INFORMATION	8

## 図書館は「宇宙」の中心

総合図書館委員 人間環境学部教授 手島 勲 矢

本来、大学にとって図書館の重要性は自明であり、改めて、強調しなければいけない話ではない。しかし、最近の少子化の傾向をうけて学校運営を見直す多くの日本の大学においては別である。全入時代を数年後にひかえて、大学自治の体質は、組織全体の生き残りをかけ利潤を追求する会社経営の体質とさほど変わらなくなってきている。今では、学生数の確保のためにあの手この手の奇策・珍説もめずらしくない。だが、言わずもがな、無駄な支出の削減に努めることは、何よりも運営改善の核心であろう。しかしながら、問題は、大学における「無駄」な支出とは何か、また大学の「魅力」とは何かである。

その昔、図書館は宇宙の中心であった。つまり、知識の空間としての「大学」(ユニバーシティ)という名称が「宇宙」(ユニバース)の字義に由来することは有名であるが、その宇宙たる「大学」の中心は、まさに一つの図書館にあったと言っていい。いや、図書館という発想そのものが、大学の精神そのものであった。私は、図書館の起源としてよく引用される、紀元前3世紀エジプトのアレクサンドリアに設けられた「ムセイオン」の成り立ちを思い出しながら、そう考えてしまう。

いくつかの点で、アレクサンドリアにプトレマイオス王朝が設けた図書館(ムセイオン)は、それまでのメソポタミアに見られる王宮付属の記録保管所(アーカイブ)とは性格を異にする。その違いの一つは、保管される記録の中身である。メソポタミアの記録保管所で発見される文書群の主体は、納税に関する役所の公文書や裁判所の判決文など、現実生活の重要な記録である。これらは実用的で政治的な価値を有する文書群だが、それに対して、アレクサンドリア図書館の中身は、歴史を知るのに、また世界を考えるのに、有益なテキスト群であった。これは、図書館設立の動機の一つが王朝の子弟たちにギリシア的教養を与えることにあったことが関係している。つまり図書館を建てるに際し、まずプトレマイオス1世が行ったのは、ゼノドスという

当時の古典的なギリシアの学識を代表する学者をアレクサンドリアの図書館長として招聘したことである(前308年)。このゼノドスは、ホメロス叙事詩テキストの校訂に着手した古典学者としても有名である。そして、以来、様々な優れた学者がこのアレクサンドリアの図書館に集まり始めた。この様を、フィリウスのティモンは、「書物の人々たちはエジプトで養われ、久しく、図書館の檻の中に閉じ込められて」と揶揄している。

この歴史が教えるのは、様々な書物を収める図書館があるから様々な学者が集まるようになったのではなく、実は、様々な「めずらしい」「この世離れした」学者が集まるからこそ、そこに様々な書物も集まったということである。いや、そればかりか、実用的でないゆえに、失われようとしていた様々な古典的な文書(ホメロスから聖書まで)も、これらの学者たちは残すべく注解する努力をした。だから、ホメロスのギリシア語も旧約聖書のヘブライ語も意味不明になることなく、現在でも、私たちに伝えられている。そして、さらに、カリマコス、エラトスセネス、アリストファネス、アリストアルコスなど、代々のアレクサンドリア図書館長たちは、テキストを超えて、世界と人間に対する実利を度外視した人文的な関心を抱き続けた。それゆえに、アレクサンドリアでは天文学も数学も工学も、同時に飛躍的な発展を遂げた——というのは、「図書館」の理想化もはなはだしいであろうか。

いずれにせよ、私たちの時代は、今、大事な人類精神の分岐点に立たされていると思う。すべてを見渡すことは、誰にもできないが、ただ純粋に学問を志す一人ひとりの心に映る「大事なもの」は、いつの時代においても「大事なもの」であろうと私は信じていたい。そして、そのような、様々な「大事なもの」を心に抱き続ける学者の集まりこそが、「図書館」(ムセイオン)つまり「宇宙」(ユニバース)を構成するのではなからうか。私は、昨今の改革の嵐の中で、日本の「大学」(ユニバーシティ)から「図書館」が失われないよう念じている。

# 図書館ホームページ

使いこなして図書館ツウに

大阪産業大学総合図書館ホームページURL <http://www.osaka-sandai.ac.jp/tosho/>

図書館はホームページでも様々な情報を発信しています。

ホームページは  
これからも変わり続けます

## Web検索

他大学・機関所蔵の図書資料の所蔵調査ができます。(24時間検索可能) 本学で所蔵していないものはILLサービスにより入手することができます。  
(P4-5使い方シリーズ参照)

## 利用案内

休館日や開館時間などのチェックができます。

## デジタルギャラリー

貴重書の一部を紹介しています。

## 蔵書検索

学外からも24時間自由にアクセスでき 本学所蔵の図書・雑誌・視聴覚資料(ビデオ・DVD・CD)などの検索ができます。

## 大阪産業大学総合図書館

Osaka Sangyo

### → 蔵書検索

- 蔵書検索(OPAC)
  - Webca検索
- オンラインデータベース

### → 利用案内

- 利用対象者
- 利用時間
- 各利用方法
- 資料の貸出
- 利用について

### → 利用サービス

- レファレンス/相互利用
- リクエスト

### → 情報検索

- 資料の探し方
- OPAC検索方法
- 一般雑誌
- 学術雑誌
- 新聞
- CD-ROM
- コレクション

### ● デジタルギャラリー

### → 図書館概要

- プロフィール
- フロアマップ
- お問い合わせ

### → リンク

- 大阪産業大学
- 外部リンク

## ● 蔵書検索

蔵書検索

検索欄

タイトル、または著者名を入力  
下さい。  
当館の蔵書を検索します。 >>>

## ● お知らせ

- NEW ・冬期休暇中の貸出について
- NEW ・試験(2005年1月17日)
- NEW ・春期休暇中の貸出について
- NEW ・図書館の改装工事が始まる
- ・学生に読んでほしい本
- ・図書館だより

## ● 開館カレンダー 2005年 1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

## ………ILLサービス(図書館間相互利用サービス)とは………

全国の大学図書館と機関が相互に協力し図書の貸借、文庫の複写物の取寄せ、所蔵館での閲覧が可能になるサービスです。詳しくは図書館2Fレファレンスカウンターにお尋ねください。

## お知らせ

常に新しい情報に更新していますので、ホームページを見る際は、まずはお知らせをチェックしてみてください。

## ☆学生に読んでほしい本 (2004年度)

今年初の試みで、各学部の先生方にじっくり時間をかけて選書していただきました。

興味深い良書ばかり全127冊。



リストはホームページ上でのみ公開しています。授業の枠を越え、大々的に選書していただける機会 はめったにないことだと思います。

全て本学図書館所蔵の本ですので、所属学部はもちろん、他学部のおすすめ本も読破してみ てはいかがでしょうか。



図書館のホームページでは役立つ情報を満載 しています。ホームページを使ってより上手に 図書館を利用してもらうことが館員一同の願 いです。

ホームページの内容は変わり続けています。授 業の空き時間、図書館でパソコンを利用する と きなど、ぜひ一度アクセスし、どんな情報がある のかチェックしてみてください。

## 図書館だより

図書館だよりのバックナンバーも見るこ とができます。

**2005年1月、  
バージョンアップし  
さらに内容も充実します。  
お見逃しなく。**

2005年 2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

9:00~21:40

9:00~17:00

休館日

>>年間カレンダー

# 図書館に無い本も 読みたい!

図書館に無い本を読みたいときには、**リクエスト** 制度があります。しかし、図書館には、**予算に限りがあり、また、収容能力限界のため、そのサービスをもってしても限界**があるのが実情です。

そこで、図書館が相互に協力し合う、いわゆる **相互協力制度** があります。  
実際にどのような方に便利なサービスかといいますと…

## ① 本の場合

「図書館にあるパソコン(OPAC)で調べても、**読みたい本が見つからない…**」

## ② 雑誌の場合

「あの雑誌の**記事(論文)**を探しても、**総合図書館**においていない…」

そうした要望に応えるため、他の図書館から「**取り寄せ**」ができるサービスです。

## 【申し込み方法】

### ① 本の取り寄せ

- ※ **手に入れたい本がはっきりしているとき** は、2階のレファレンスカウンターで申し込みをして下さい。

**必要な情報** 書名、著編者、出版社名、出版年、ISBN等

- ※ **大まかな分野しか分らない、あるいは、情報が不確かな場合**

NACSIS Webcat (<http://webcat.nii.ac.jp/>)

国立国会図書館NDL-OPAC (<http://opac.ndl.go.jp/>)

Books.or.jp (<http://www.books.or.jp/>)

※上記等で、詳しい情報を調べる。その後、2階のレファレンスカウンターにお越し下さい。  
わからないことがあれば、直接レファレンスカウンターにお越し下さい。

## ② 雑誌記事の取り寄せ

※ **複写物（いわゆるコピー）** を取り寄せることとなります。（有料：複写代、送料等）

（雑誌は、現物を取り寄せできません。）

取り寄せたい記事（論文）に関する情報を、  
2階のレファレンスカウンターにお持ち  
下さい。

### 記事に関する情報とは…

- ・ 著者・論題・雑誌名
- ・ 掲載されている巻号・ページ
- ・ 掲載巻号の発行年

そのため、～は…している。

今後は、…は…に向って行くのではないだろうか。

参考文献

産大次郎右衛門：国内における環境変化に  
ついて、月刊環境2(6)、268-281p. 1998年

上のように、希望の論題が紹  
介されている部分（あるいは  
そのコピー）をお持ち頂くと  
依頼時に便利です。

※本・雑誌記事の取り寄せは、申し込みからお渡しまで  
通常1週間前後かかります。

### 参考文献を探し出すのに便利なホームページ

参考となる論文がどの雑誌のどのページに載っているか調べるのに  
便利なホームページを一部ご紹介！

#### 国立国会図書館（雑誌記事索引）

<http://opac.ndl.go.jp/>

国立国会図書館の受入雑誌の記事（論文名）等の検索

#### CiNii（Nii 論文情報ナビゲータ）【試験公開中】

<http://ci.nii.ac.jp/>

日本の学会、協会、大学等が発行する学術雑誌の論文・引用文献等の検索

#### 科学技術文献速報（CD-ROM版）【図書館内のみ利用可能】

JST（科学技術振興機構）が収集する雑誌記事の検索。理工系、経営向け。

その他にも、分野毎に有用なホームページが多数あります。

# 学生選書モニター

2004年11月6日(土)  
於:紀伊国屋書店梅田本店

平成16年度第2回学生選書モニターを実施しました。  
参加者22名、約2時間、店頭で本を直接手にとっての選書が行われました。  
今回の選書冊数は約1,800冊。この中から、既所蔵分等をのぞいた約1,200冊が新着図書として書架にならびます。



事前にメモを用意。



ゼミ関連の本などを…



手際よく選んでいきます。



洋書もおさえておかねば。



参加者全員集合!

## 学生選書モニターで選ばれた本

本年度、第1回学生選書モニターで選ばれた図書は、一般の書架に配架しています。  
総合図書館2階入口ゲート前、新着図書コーナー「学生選書モニター図書リスト」で、全タイトルを見ることができます。  
第1回学生選書モニターで選ばれた図書の中から、一例をご紹介します。

### 『勉強のやり方がわかる』

朝日新聞社

授業の受け方、図書館の活用法など、図入りでわかりやすく説明してあります。情報を得る技術ばかりでなく、どう活用するか。「勉強」とは、奥深いものですね。

請求記号 377.15/48

### 『公務員試験(秘)裏ワザ大全2005年度版用』

津田 秀樹著 洋泉社

「こういう解き方もあるのか!」と、とても新鮮な内容。出題者の観点に立った解法など、まさに裏ワザ。ワザはたくさん持っていたほうが…。公務員試験でなくても、発想の転換に。

請求記号 シュウ/860, 861

### 『飛田百番:遊郭の残照』

橋爪 紳也監修 創元社

大正末~昭和初期の贅を尽くした遊郭建築の内部をふんだんなカラー写真で紹介。この建物は現在、料理屋さんになっているので、読んで興味を持ったら、実際に見に行くこともできます。

請求記号 521.8/13

### 『「好き」をシゴトにした人』

大岡まさひ文・高橋里彩写真 主婦と生活社

できれば、「好き」をシゴトにしたいもの…と、つい手にとってしまう1冊。心の底にずっと持っていた「好き」な気持ちや、実現するための苦勞話など、おしゃれな写真とインタビュー形式で、シゴトを紹介しています。

請求記号 366.29/47

# 新着DVD



## 図書館に新しいDVDが入りました。

写真はその一部ですが、洋画、邦画、韓国映画、中国映画などから、今回も多様なジャンルの作品が加わりました。これらの映画のほか、図書館ではドキュメンタリーや、オーケストラ、オペラ等の舞台作品も揃えています。

新着及び、図書館にある全てのDVD・ビデオのリストは、2階オーディオカウンターに置いてあります。また、図書館ホームページからも検索できます。

<http://www.osaka-sandai.ac.jp/tosho/>

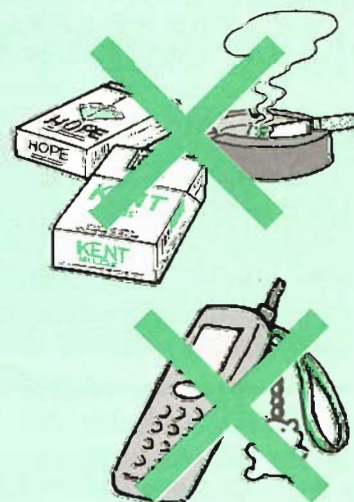
《2階オーディオコーナーで視聴できますので、ぜひご利用下さい。》



## 図書館よりお願い



- ※全館禁煙です。
- ※席をはなれる時は、貴重品は必ずお持ちください。
- ※飲食はしないでください。
- ※携帯電話の使用は禁止します。



### 試験期間中の利用について

試験期間：1月17日(月)～1月28日(金)  
 窓口業務：9:10～21:40  
 なお1月10日(月)～1月28日(金)は、予約、貸出延長は出来ません。

### 図書館改築工事のお知らせ

2005年1月下旬(後期試験終了後)より、図書館の改築工事を行います。工事は期間中は4階への立ち入りができなくなり、4階の図書(和書の一部、洋書、中国書等)も貸出不可となります。改築工事の日程等、図書館ホームページにも掲載しますので、ご覧下さい。ご利用の際には大変ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解の程よろしくお願い致します。



### 長期休暇中の特別貸出について

**【冬休み】** 受付期間……12/14(火)～12/27(月)  
 貸出冊数……7冊以内  
 返却期限……1/13(木)

### 【春休み】

	受付期間	貸出冊数	返却期限
大学生・短大生	1/17(月)～3/31(木)	7冊以内	4/15(金)
卒業予定者	1/17(月)～3/19(土)	7冊以内	3/19(土) <small>卒業式当日</small>
大学院終了予定者	12/18(土)～3/19(土)	20冊以内	3/19(土) <small>卒業式当日</small>
その他(※)	1/17(月)～3/31(木)	7冊以内	3/31(木)

※その他…・研究生、科目等履修生、卒業生、派遣職員、アルバイト・パート

### 卒業後の図書館利用のご案内

卒業後も総合図書館をご利用下さい。  
 お申し込みにより「利用カード」を発行し、館内資料の閲覧・貸出や、オーディオ、マルチメディア等が利用出来ます。  
 お問い合わせ、お申し込みは2Fメインカウンターまで。

### 冬季の開館日程について

大学行事等により開館日・開館時間を変更する場合には、事前に告知します。

#### 2004

#### 12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

#### 2005

#### 1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

#### 2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

#### 3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

#### 開館時間

通常：9:00～21:40 緑：休館日  
 短縮：9:30～17:00

### 編集後記

いよいよ本格的な寒さとなりました。さて、11月より総合図書館内の改装が徐々に始まり、試験、卒論等の準備に忙しい皆さんには何かとご不便をおかけしますが、よりよい図書館づくりにご協力頂きますようお願いいたします。

この図書館だよりでは、皆さんの目に留まり、気軽に手にとってもらえるような紙面を心がけています。ご意見、また今後取り上げてほしいテーマがあればお聞かせください。

ご多忙中にもかかわらず、執筆・編集にご協力頂きました方々に厚く御礼申し上げます。

### 図書館だより No.15

発行日 平成16年12月20日

編集・発行 大阪産業大学 総合図書館 大阪府大東市中垣内3丁目1-1  
 Tel. 072(875)3001(代表) Fax. 072(873)1664(直通)



この印刷物は、環境意識のため、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

ホームページURL: <http://www.osaka-sandai.ac.jp/tosho/>